

結進仕  
団躍奉

# 鹿児島けんちく

発行所  
 社団法人 鹿児島県建築協会  
 鹿児島市城山町2-13  
 電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479  
<http://www.kagoken.net/>  
 E-mail: info@kagoken.net

斯文堂株式会社  
 鹿児島市南栄2-12-6 〒891-0122  
 TEL099-268-8211 FAX099(269)5198  
 URL <http://www.shibundo.com/> E-mail info@shibundo.jp



桜島の冠雪(鹿児島市 平成17年12月22日)

## 新年を迎え心新たに

社団法人鹿児島県建築協会 会長 上山 一吉



謹んで新春のお祝詞を申し上げます。

旧年中は行政機関を始め、会員、建設関連の皆様方に格別のご厚情を賜り有難うございました。本年もなお一層の御指導御鞭撻の程をお願い申し上げます。

全中では昨年の十一月中小建設業者の現状と窮状打開に関する事項を固に強く要望いたしました。地方の中小建設業者は、長年にわたって公共事業予算が削減される中で、公共工事を命綱に地域の安全、安心、雇用の確保など地域住民の期待に応

えるべく努力をいたしてありますが、余りにも長期にわたつての公共事業の削減で危機的な状況に追い込まれております。今後とも優良な中小建設業者が生き残り、地域に根差した地場産業としてその役割を果たしていくことが出来るように、平成十八年度公共事業予算については中小建設業者向け工事量の確保を図ること、地方自治体の財源確保のための施策を講じること、公共工物品確法の運用徹底を図るとともに、ダンピングの排除を促進し、適正価格での受注が図られるよう配慮し、不良不適格業者の排除の徹底を図り、特に地方自治体に対する措置を講じること等であります。これを踏まえ、県内においても行政機関に対し、工事量の確保を関

新年、明けましておめでとございます。

皆様には、平成十八年を迎え、心新たにすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

社団法人鹿児島県建築協会におかれましては、日ごろから、社会情勢の変化や建築技術の革新の中で会員の技術力の向上や経営基盤の強化を図り、県内各地において安全で快適な建築空間を提供されるとともに、地域特性を活かしたまちづくりに



御尽力しておられますことにに対し、心から感謝を申し上げます。

さて、鹿児島県は、一昨年の九州新幹線の開業を皮切りに、昨年のアミノプラザ鹿児島やドルフィンポートのオープン、高校野球で本校サッカーや高校野球での本県選手の活躍、鹿児島をキャンパス地とする千葉ロッテマリーンズの本拠地、本シリーズ優勝など明るいニュースが続きました。

また、本格焼酎や果酢、茶といった本県特産品や食材などが県内外に注目され、順調に売り上げを伸ばすなど、これまで鹿児島県の歴史・風土の中で育まれてきた食文化や生活文化が脚光を浴びるなど、今、まさに鹿児島は「旬」の時代を迎えているので

はなにかと思っております。

私は、知事就任以来、これまで、「力みなぎる・かごしま」の実現に向けて、県内各地で県民の方々から直接御意見を伺う「知事と語る会」の開催や本県の農林水産物を県外等に販売促進するトップセトルスの実施、また、本県の行財政基盤を立て直し、今後の行財政構造のあるべき姿やその実現に向けた改革の方向を示すための「県政刷新大綱」の策定さらには、全庁的な危機管理体制の確立などを積極的に進めてまいりました。

これらの取組は、県民の皆様への御理解と御支援をいただきながら、全体として概ね順調に進めることができたと考えております。

二十一世紀は協働の世紀と言われております。ますます複雑・多様化していく行政需要に対応するため、引き続き持続可能な行財政基盤の構築に向けた様々な取組を進めるとともに、市町村と十分に連携をとりながら、「共生・協働」による活力ある地域社会づくりへの新たな取組を積極的に進めたいと考えております。

これからの時代や環境が大きく変化する中で、鹿児島に新しい風が起る可能性を信じ、今年も、県民の皆様と力を合わせ、「力みなぎる・かごしま」の実現に向け全力を尽くしてまいりますので、皆様には、今後とも、県政の推進に御支援・御協力を賜りますようお願いいたします。

社団法人鹿児島県建築協会のみならずの御発展と会員の皆様への御健勝・御活躍を心からお祈り申し上げます。

とに深く感謝申し上げます。

また、市長就任から一年あまり経過しましたが、この間、市政が順調に推移しておりますことに、重ねて厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の市政を振り返りますと、私は、市民の皆様から直接ご意見やご提言をいただくため、市長とふれあいトークや新しいかごしま市を考える女性会議などを設け、行政への市民参画を推進いたしました。

また、安心して暮らすことのできる社会の実現は、すべての市民の願いであるとの思いから、安心安全なまちづくりのための取組みを積極的に進めました。

一方、市政運営の最高規範である総合計画について、合併等による状況変化なども踏まえた改訂を行うとともに、総合計画に掲げた元気都市・かごしまの実現に向けて着実な前進を図るための具体の施策として、平成十八年度から二十年度までの実施計画を策定いたしました。

さて、新年を展望いたしますと、社会経済情勢の大きな変化をしっかりと見据えながら、改訂総合計画と新たな実施計画

新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年でありませう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

また、市民とのパートナーシップを大切にしたい。市民が主役の鹿児島市の実現」という私の基本理念に基づき、市民の皆様が心身ともに健康で安心して暮らせるよう市民福祉の向上に努め、本年を「熱い、明るい、あたたかい鹿児島」のさらなる推進を図る年にしたいと思っております。



## 「力みなぎる・かごしま」の実現を目指して

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎

連団体等と連携して強く要望いたします。昨年八月に品確法の基本方針が閣議決定され、それを受け県でも十八年度より一部試行を打ち出されましたが、総合評価方式を具体的に示していただき、地元の業者が各ランクで受注できる仕組みを願っています。アスベスト問題に関しては当面の実施内容として周知の徹底と対応の徹底で、特に会員

企業の作業者に労働基準協会、産業廃棄物協会が実施する特別教育に参加し、資格や終了証を取得されることを奨励いたします。

昨年は、鋼橋工事の談合事件や耐震偽造問題などの不祥事があり、社会に大きな衝撃を与えたこととは甚だ遺憾であります。

協会も今年四月は輝かしい第四十五回目の節目を迎えます。これを機に全会員が心を新たにし、一

層の団結と技術力の向上、経営の合理化等に努め、社会に信頼され、社会に奉仕する地場産業を目指してこの厳しい時代を乗り切っていくことが大事だと思っております。今年が協会と会員にとって飛躍の年になりますよう、そして行政機関や建設関連の皆様方のご多幸とご活躍をご祈念申し上げ挨拶いたします。



## 元気都市・かごしまの創造へ飛躍の年

鹿児島市長 森 博幸



平成十八年のすがすがしい新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から市政に対し、ご理解とご協力を賜っておりますことと、市町村と十分に連携をとりながら、「共生・協働」による活力ある地域社会づくりへの新たな取組を積極的に進めたいと考えております。

これからの時代や環境が大きく変化する中で、鹿児島に新しい風が起る可能性を信じ、今年も、県民の皆様と力を合わせ、「力みなぎる・かごしま」の実現に向け全力を尽くしてまいりますので、皆様には、今後とも、県政の推進に御支援・御協力を賜りますようお願いいたします。

社団法人鹿児島県建築協会のみならずの御発展と会員の皆様への御健勝・御活躍を心からお祈り申し上げます。

の着実な推進を図り、元気都市の創造に向けてさらに大きく踏み出すことが私の使命であると考えております。私は、このような観点に立ち、本年をまちづくりの新たな展開を図る年と据え、市勢のさらなる発展を目指して全力を傾けてまいります。

とりわけ、九州新幹線的全線開業を視野に入れ、地域間競争の時代に勝ち抜くまちづくりを急ぐことが重要であります。本市のさらなる魅力創造のための観光振興基本計画である観光未来戦略に基づき官民一体となった取組を進めるなど、計画的かつ戦略的な施策を展開してまいります。

また、市民とのパートナーシップを大切にしたい。市民が主役の鹿児島市の実現」という私の基本理念に基づき、市民の皆様が心身ともに健康で安心して暮らせるよう市民福祉の向上に努め、本年を「熱い、明るい、あたたかい鹿児島」のさらなる推進を図る年にしたいと思っております。



# 年頭所感

社団法人全国中小建設業協会会長 岡本 弘



平成十八年の年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

わが国経済も景気が緩やかに回復を続けているというところで、本年こそは建設業にとっても明るい年となるよう願いたいものであります。

ご承知のとおり、私も中小建設業にとりまして厳しい時代が続いており、建設業の供給過剰を解消するための有効な手段がない中で、長年にわたって建設投資は減り続けており、特に、中小建設業者が命綱とする公共事業は、急激な勢いで削減され続けております。

建設業の供給過剰を解消するための有効な手段がない中で、長年にわたって建設投資は減り続けており、特に、中小建設業者が命綱とする公共事業は、急激な勢いで削減され続けております。

# 新年を迎えて

鹿児島県土木建築技監 安藤 恒次



あけましておめでとございます。

会員の皆様方におかれましては、心新たに清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

その影響で、受注競争は激化し、相変わらずダンピングも横行しております。また、国土交通省等の指導にもかかわらず地方自治体におけるダンピングを助長するように入札制度、さらには、くじ引きで落札者を決めるような異常な入札にも、依然として歯止めがかからないように思われます。

関係方面に要望しておりますが、補正予算も、公共事業の追加は困難な状況にあります。また、新年度の予算においても、政府の削減目標がほぼ達成されたことから、期待を寄せておりましたが、残念ながら公共事業は引き続き削減される方針であります。

如何に財政事情が厳しい状況下にあるとはいえ、このままでは、さらに中小建設業者の犠牲が増え続け、不測の事態が一層増大するのではないかと、大きな危惧を抱いております。

また、本県の建築・住宅行政の推進につきましても、かねてから多大な御支援と御協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

また、本県の建築・住宅行政の推進につきましても、かねてから多大な御支援と御協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

建ピジョンで掲げた、社会に奉仕する力強い地場産業を目指して、中小建設業者がその使命を全うできるよう努力しておりますが、これには繰り返し申し上げますように、中小向けの公共事業の確保とダンピングを防止することが不可欠であります。

そのため、受注分野確保を最大の課題として取り上げ、国に對しましては、中小向けの公共事業予算の確保や官公需法による中小向けの契約比率を高めていただくよう努力を続けております。

また、三位一体改革の名の下に、国庫補助事業や地方単独事業の推進が損なわれることのないよう、地方自治体の財源確保のため施策を強く訴えているところであります。

その中で、官公需法に關しましては、私どもの努力が報われ、毎年、過去最高の契約目標率で閣議決定されているところであり、

しかしながら、まだまだ十分とは言えませんので、今後とも地場産業として地域の安全や雇用の確保等に大きな役割を果たしてあります中小建設業者の受注分野

確保のために、強く訴えて参りたいと思っております。

また、地方自治体で多発しておりますダンピングにつきましても、何として防止しなければなりません。

そのためには、従来の施策の徹底はもとよりであり、昨年度実施された品質確保とダンピングの防止を狙いとする、公共工事品確法の運用徹底を図り、適正価格での受注が図られるよう、不良・不適合業者の排除と併せて、国土交通省の更なる指導強化を要望して参りたいと思っております。

中でも、品確法の運用徹底にあたっては、中小向けの工事に對して地方自治体が速やかに対応していただくよう、また、運用によつては中小建設業者の受注分野が減少されるのではないかと心配も懸念されますので、今後とも適切に運動していかねばならないと思っております。

これらの受注確保やダンピングの問題のほかに、対応しなければならぬ問題が山積みしております。

徳之島高校、県営松陽台団地等に着手する予定であります。建築行政につきましては、完了検査率の向上、工事監理業務の適正化、違反建築物の掃等に取り組んでいくところであり、先般発覚した構造計算書の偽装問題は、建築行政の根幹を揺るがしかねない事態に発展しており、今後、関連制度の見直しだけでなく、建築に携わる全ての者の「倫理観」と「技術力」が厳しく問われていくものと考えております。

の対応をはじめ、急務となつた品確法に基づく総合評価方式等への対応やRCCコンクリートの入札契約制度改革への対応、今月から施行の改正独禁法への対応、建設CALS/ECや情報化への対応、さらにはアスベスト問題への対応や若手経営者育成など、まだまだ多くの課題を抱えております。

また、今回の経審見直しにあたっては、私どもが訴えて参りました団体加入企業に對するメリットの付与について、防災に貢献する建設業者への加算点という形で新たに評価項目に盛り込まれることになりました。

全国の中小建設業者の皆様におかれましては、今後とも、私どもも全中建設に對する一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、合併後の速やかな一体化と均衡ある発展に向けて、都市計画の見直しや幹線道路網の整備を進めるほか、既存集落の活性化に取り組んでまいります。

さらに、近年の大型台風により被災した低地区における浸水対策を推進するとともに、市道のバリアフリー化や区画整理事業の推進により、安全で住みよいまちづくりを進め市民福祉の向上に努めてまいります。

これらの取り組みを通じて、新しい年が総合計画に掲げた元氣都市・かこしまの創造に向けた飛躍の年となり、また皆様にとりまして素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。

頭のごあいさつといたしまして、おそろく日本一だと云わ

かにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

鹿見島市では昨年、平成十八年度からの三ヶ月間で重点的に取り組む七三六項目の施策をとりまとめた実施計画を策定いたしました。

本年は実施計画の初年度にあたり、建設局におきましても各種施策への取り組みを通じて、計画の着実な推進を図ってまいります。

主な取り組みといたしましては、まず九州新幹線的全線開業を視野に入れて、中心市街地の再開発や鉄道高架化と一体となった谷山駅周辺地区リニューアル整備事業により本市の拠点製をさらに高めるとともに、

# 支部だより

経営改革と人材育成 曾於支部長 川畑 勇三



新年明けましておめでとうございます。

会員皆様方には、平成十八年の輝かしい新年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

さて、日本経済全体としては、踊り場を脱したといわれていますが、地方においては、まだまだ景気が良い方向に向かっているという実感を感じております。

また、石綿障害問題や建築物の構造計算書偽装問題、談合問題などが新聞やテレビ等で連日のように報道され、世論からは厳しい批判を受けました。

このような厳しい情勢にあつて、新市場・新分野事業

持たないのが現状です。我々業界においても、大手企業は不良債権処理や企業の再編・再生が進みつつあるのに対し、地場の中小建設業は公共事業への依存度も高く、また事業予算の縮小や入札制度の改革など経営環境はいまだ厳しい状況といわざるを得ません。

また、石綿障害問題や建築物の構造計算書偽装問題、談合問題などが新聞やテレビ等で連日のように報道され、世論からは厳しい批判を受けました。

このような厳しい情勢にあつて、新市場・新分野事業

持たないのが現状です。我々業界においても、大手企業は不良債権処理や企業の再編・再生が進みつつあるのに対し、地場の中小建設業は公共事業への依存度も高く、また事業予算の縮小や入札制度の改革など経営環境はいまだ厳しい状況といわざるを得ません。

への進出など経営の改革を一段と進め、地場・地域に根ざした建設業を目指した努力が必要と思われま

さらには、労働力意識の変化や省力化省人化により労働者の雇用が不安定化しておりますので、現に雇用されている建設労働者の雇用の安定や若年者の入職促進及び定着を図るとともに、高齢者や女性が活躍できるような労働環境の整備と計画的・継続的な教育訓練を図って参りたいと思

最後に、会員相互の理解と道義昂揚並びに労働災害防止交通事故防止を図って参りたいと存じておりますので、一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。

十萬五千人余りの大きな新・鹿見島市が誕生致しますが、中心市街地の再開発や霧島ヶ丘のかのやばら園等々色々変化発展しようとしております。この様な諸々の問題を解決しながら、素晴らしい鹿見島市になることを期待している今日この頃です。

月から新会計基準に改正されますのでその対応にも追われそうです。出身は鹿見島生れの鹿見島育ち物静かですが、人見知りをする方ですが、難しいことは言いませんので声をかけて下さい。

晩酌は焼酎。毎日欠かさずなめる程度、演歌を聞きながら飲むと量が増えます。

休日には温泉めぐり、県内あちらこちらに行つて露天風呂でのんびりします。

風邪をひかない元氣な体です。職務に励みますので、ご指導よろしくお願

ご指導よろしくお願

ご指導よろしくお願

ご指導よろしくお願

# 元氣都市・かこしまの創設へ

鹿児島市建設局長 山中 敏隆



平成十八年の新春を健やかに

かにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

鹿見島市では昨年、平成十八年度からの三ヶ月間で重点的に取り組む七三六項目の施策をとりまとめた実施計画を策定いたしました。

本年は実施計画の初年度にあたり、建設局におきましても各種施策への取り組みを通じて、計画の着実な推進を図ってまいります。

主な取り組みといたしましては、まず九州新幹線的全線開業を視野に入れて、中心市街地の再開発や鉄道高架化と一体となった谷山駅周辺地区リニューアル整備事業により本市の拠点製をさらに高めるとともに、

# 基地の街かのや

鹿屋支部長 小林 正義



鹿屋の街にも色々話題が有るもので、この度、鹿屋の街が基地の街であることを再認識しました。

連日の報道によつて、鹿屋の自衛隊基地へ米軍の給油機十二機が配置されることが知られ、市民の間で賛否両論がうすまいてあります。行政・議会は反対、民間団体の一部は賛成と大変な論議がなされています。

我々、建設業界は静観してはいますが、施設の整備等を考えますと基本的には賛成と云うことでしょうか。

ただ、一番危惧されるのは、現在鹿屋市民と海上自衛隊との関係は非常にうまくいっており、その評価はおそろく日本一だと云わ

新年明けましておめでとうございます。

昨年七月からの三ヶ月の研修期間を終え十一月一日より事務局職員に採用されました。企業会計と違う公益法人会計に慣れるまで多少時間がかかると思いますが勉強して参ります。又四

ご挨拶

事務局員 和田 貢一

事務局員 和田 貢一

# 事務局だより

事務局員 和田 貢一

新年明けましておめでとうございます。

昨年七月からの三ヶ月の研修期間を終え十一月一日より事務局職員に採用されました。企業会計と違う公益法人会計に慣れるまで多少時間がかかると思いますが勉強して参ります。又四

ご挨拶

事務局員 和田 貢一

事務局員 和田 貢一

事務局員 和田 貢一

事務局員 和田 貢一

事務局員 和田 貢一

事務局員 和田 貢一



# 新年にあたり

北薩支部長 本田 幸廣



新年おめでとうございま

会員の皆様には新たな希望に向かって、新年を迎えられたことと拝察いたします。

十七年は選挙と市町村合併問題など話題の多い年でありました。年末には大震災、キングな耐震偽造の発覚など、ただでさえ悪者扱いされている我々真面目な建設業者、建築士にとって怒り心頭に達する出来事でありました。

この事について良く質問されます。鹿見島県において、絶対にそのようなことは無い、我々には考えられない事だと答えることでした。

さて、合併により、北薩支部も五市町が誕生し、近く出水市も誕生することになり、現在までの四市十三

町四村が五市二町で運営されることになりました。

合併を機に支部の再編も考えられるが、支部役員会等でも妙案が浮かばないのが実情です。

「建築の日」ポランティアも各地区で実施し、一月より高校生の「現場体験学習」が始まります。出水地区二十四名、川内地区二十名、各社二、四名の受け入れとなっております。

このように後継者育成と奉仕活動等に取組むことで、建設業の発展につながるものと期待しております。

景気は上向いていると言われるが、公共工事の削減や鹿見島では民間投資も大部

落込み、大変な時代ではあります。

いつの時代にも建設工事が消えることはありません。いろいろと掘り起こせばまだまだ工事は生まれます。

会員の皆様の今後の御健闘をお祈りしながら寄稿と致します。

# 海の恵み

南薩支部 堀之内 茂



新年明けましておめでとうございま

私の住む指宿は、古くは湯豊宿と標記されるほど豊かな温泉と自然環境に恵まれています。

特に陸けい島である知林、島周辺から温泉が湧出する天然砂むし温泉まで、近年、砂浜の後退が進んでいます。美しい海があります。

「夏、海で泳ぐと冬に風邪

# 新年におもつ

大島支部 政 和豊



近年つくづく思う事は、

私のいる地域(離島)における建築会社、土木業者は、

なく、建築主体会社の近年の衰退である。

民間工事の厳しい競争受注競争や公共工事等の発注工事業の減少も、ひとつの原因かもしれないが、根本的な原因は、国の施策にもよる、経営状況分析の取り扱

に争点が置かれていていると思

う。

経営事項審査の総点評点数(P)の点数の計算方式は、

各種建設工事の種類ごとに、

各種工事の種類別による技術職員数(X)・自己資本額及び建設業従事職員数(X2)・

その他の審査項目(社会性等)(W)・評点、最後に

医療として広く認められており、フランス厚生省も治療目的で行う処方として定義づけています。

日本に本格的なタラソテラピーの施設が開設されたのは、十数年前からで、ダイエット、美肌美容、あるいは疲労回復の目的で利用されることが多く、治療目的だけの施設を利用する人はまだ少ないようです。

現在、いちばん盛んな国はフランスで国内に七十ヶ所ほどの施設があり、治療や予防医療のためのものから、美容禁煙のためのもの、さらには女性やモデルはもちろ

経営状況分析結果(Y)・評点の五つの評点より構成されています。

各評点の総合評点数(P)の点数における寄与度合いは、X1評点が三十五・Z評点が二十・X2評点が十・W評点が十五・Y評点が二十の比率になっている

事は、皆さん御存知のこと

だろ

項目区分の各工種による完成工事高(X1)・評点及び各種工種による技術職員数(X2)・評点が工種別に別れているにもかかわらず、経営状況分析結果(Y)・評点の点数は、

社会全体の内容が良ければ良いのである。

各工種においての内容を、建築・土木とび土工コンクリート等々に工事の種類ごとに区分けし審査することにより、各社企業の専門性が確保され正しく経営事項審査が行われるのではないのでしょうか?

従来、公共工事の会社経営率(現場経費・一般管理費)の内容は、専門工事・外注率が多い建築工事が一、二割の

海藻・海泥など、海のさまざまな資源を利用しますが、具体的には、ジェットシャワーなどを用いた入浴療法、プールでの水中エクササイズ、海藻・海泥を原料にしたパックやマッサージ、気管支の洗浄や雑菌に効果的な海水の噴霧療法、足のむくみや肩のこりのマッサージ、熱砂療法、冷水浴などがあります。その中には、海産物を中心とした栄養バランスのよい食事療法も含まれています。

日本での利用者は、今のところは女性を中心ですが、昨今の癒しブームの影響か、あるいは美容の認識が浸透したのか、男性の利用も増えつつあるとの事。

日本のタラソテラピーの施設は、規模や設備などがさまざま、厚生労働省が運動型

率に対して、自社施工の比率が多い土木工事は六、七割となつています。(今は比率が変わつてきているのかも知れませんが)こういった経営率の内容で建築専門企業の企業内容(利益率)が良いわけがありません。(それじゃあ貴社も土木工事をすればどうか?といった声はおのずから出てくるが)そうかんたんな問題ではない。

私が思うのは、建築工事の総合評点数(P)点は、建築の経営状況で評価されるべきではないでしょうか。と

言いたいことだ。例えば、この内容の評価基準の場合だと今まで建築工事が、なかつた会社、年間一千〜三千万程度の建築工事を一件でも行っただけでも建築工事の総合評点数(P)点が八百点を超えてたちまち一、二年で県や各市町村の格付けで建築のA級になるといった可能性も出てくる。(すこしい評価の内容だ。)

建築工事主体の企業で、建築A級の格付けの評価をいただいている企業は、このA級の評価をいただく過程には、これまでと並ならぬ苦

労や努力があつたからこそだと思つています。国の施策の基準が総合評点数(P)点を重視しているだけに、本来は、

健康増進施設として認定されている本格的なところもある。これは美容のためのエステティックサロンもあります。

本県は与論町が自治体を中心に本格的に取り組んでいます。

私達の街も、人と自然とのふれあいを大切にして、地元

の独特の食・豊富な温泉・必要運動の三要素を融合させ、海を取り込んだ新たな観光産業を創出する事が地域の雇用創出と経済の活性化に寄与するものと期待されます。

ともあれ私達おやし族もたまには海岸に足を運び、素足で砂を踏み、波打ち際で海水に触れて、海の恵みを頂きたいものです。

# ある居酒屋での話

始良・伊佐支部長 南 明人



先日、出張でF市に行つた。仕事を済ましてから、友人と行きつけの居酒屋で会う事になっていた。

A君・B君そして私の三人で居酒屋で落ち合い飲んでいたら、成行きと言

うよりも、自然に話題の構造計算書偽造の話になつた。

私自身、構造計算は二十代の頃、三回程やっただけで最新の事情に疎かった

ので構造計算の道三、四年のA君に、どうして確認申請時にチェックできなかつたのかと聞いてみた。A君は専門用語を並べて説明してくれるけどお酒が入っていると理解に苦しむ。紙に書いてくれとお願ひしたらスラスラと要点をまとめてくれた。

「建築の日」ポランティアは、本年度で六回目をむかえました。九月十七日を皮切りに各支部で実施され、公園や河川・道路の清掃・団地の芝生剪定等、地域に密着した活動を行いました。

正は発見できるそうである。しかし、電算内容の偽造は電算処理に慣れた人が行えるので偽造が巧妙だと思ってしまう場合もあるかも知れないという話に納得した私でした。(ちなみにB君は意匠設計事務所を経営しているの、すでに理解している)

夜も更け、杯を重ね、よもや話しに盛り上がりつつあるとA君突然、俺の話

しを聞いてくれと叫ぶ。

「建築設計事務所のような構造設計者はあらゆる構造設計者の中のごく一部の人間だ!ほとんどの設計者は自分の設計にポリシーを持ち、確認を行う技術者なんだ。しかし、ただ建築確認申請が通れば良いと考える意匠設計者や施工が多いことも事実なんだ。今後は構造設計者が自ら、より自分の設計思想や技術を提示する必要がある、意匠設計者や施工主も構造設計者の思想に

目を傾け、技術をしっかりと見届け、必要であれば、最後にA君、高度に進んできている技術と、それを表す物件とのそれぞれのギャップに起こつたのが今回の事件ではないだろうか?A君の話は聞いていたB君も、

まさしく、構造設計の流れ

以上が構造設計の流れとチェックポイントだが、要するに私共施工会社がRC造三階建ての学校建築では型枠はm当たりいくらか、鉄筋はいくらとか歩掛りを元に積算チェックを行うのと同じで、構造データを基に各々チェックポイントをチェックしていくと、今回の大きな不

理言つよな。今後は改めなくてはいけないな」と。気がつく、お客さん閉店の時間ですよ。時計を見ると十一時だ。南、二次会に行くぞ!そして我々は夜の街に消えていった。

あくる日、帰鹿してから昨晩の事を思い直してみた。「そうだ、昨晩の事を今回の「鹿見島けんちく」に書く」と記憶の定かでない所は電話で確認し、まとめてみた。私達、建築士が犯してはならない最低限の基準法を犯す等、建築士として残念な思いをする出来事ですが今後、建築士の免許更新制・建築士会への強制加入などいろいろ言われているが建築士会綱領

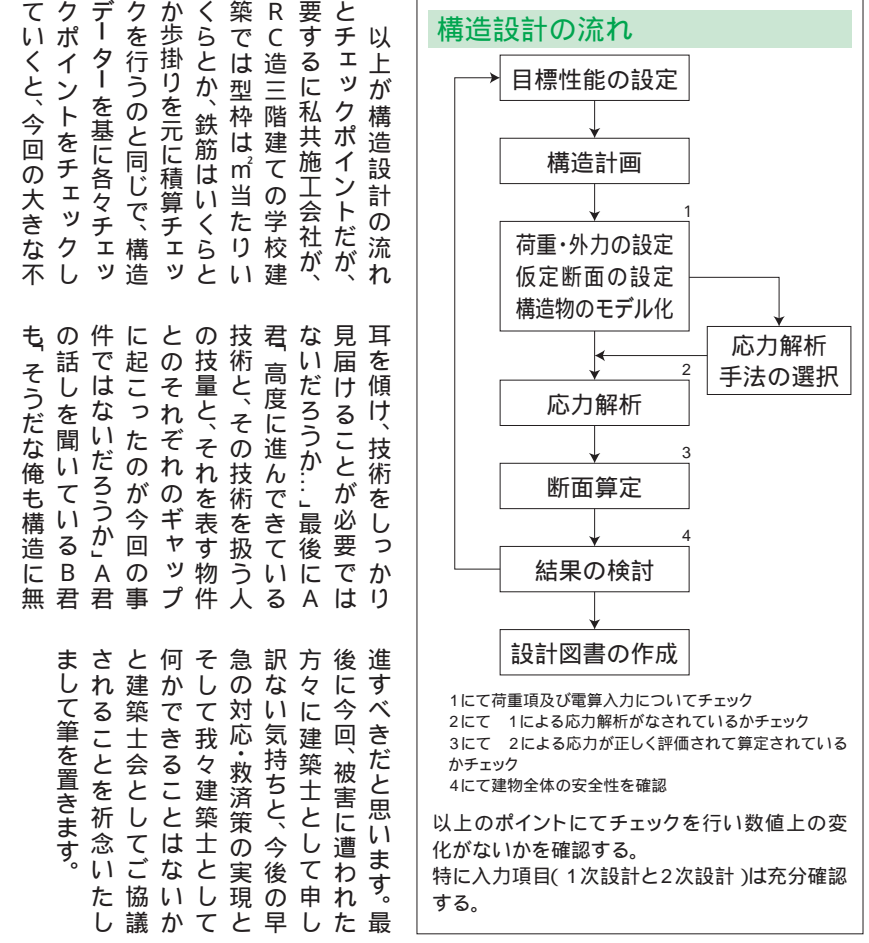
の、われらの建築は人類の幸福のための最良の芸術たるべし

、われわれ建築士は社会発展のため最新の指導者たるべし

、わが建築士会は会員の向上のため最善の団結たるべし

を自覚し今後とも建築に携わる全員がな一層精

進すべきだと思つています。最後に今回、被害に遭われた方々に建築士として申し訳ない気持ちと、今後の早急の対応・救済策の実現と





新春に思うことと

種子島支部長 久永 早苗



新年明けましておめでとうとございます。

皆様方におかれましては、晴々しい穏やかな新春をお迎えのことと存じます。

さて種子島は、県内でも遅れることなく(どちらかというと)早い内に、市町村合併への動きが始め、協議もなされ、賛否の意見も交わす中、前向きに検討致しました。

この新空港を核にし、観光・産業の拠点とすることが、今後の種子島の浮沈にかかるといえます。

朗報もあります。三月には新種子島空港コスモエアポートが開港されます。

年男の「ナ」

二〇〇六 戌年

幾山河を越えて

川崎 盛保



光陰矢の如しと申します。

月日のたつのは実に早いものであります。いつのまにか、七回目の年男であることを我ながら信じ難い気持ちで新年を迎えました。

生涯勉強!!

北田建設 北田 鉄夫



五十七歳で亡くなった父の歳を越えて、還暦を迎えるこの時、元気にいられたことに先ず感謝致します。

その頃不景気と言われていました。少しづつは良くなるだろうと、若さや気力十分で頑張っていました。

私の楽しみ

新名建設 新名 隆志



新年あけましておめでとうとございます。

早いもので気が付くと四回目の年男になりました。時間に追われる生活をしている最近ですが、私にもゆとりと余裕が少しあります。

一本のコーラ

下小野田 隆



今年で四回目の年男になります。

毎週毎週そのときはどうという時代だったか、その時どのような考えを持っていたか中々思い出せませんが、今から二十年以上前の話ですが、楽しい経験の一つとしてお話させていただきます。

仕事を鹿見島の小さな離島に出かけていきました。鹿見島港を確か夜九時ごろ小さな村営船に乗り込み出港していききました。

大正十一年生まれ



川崎 盛保

昭和九年生まれ



古別府秀義



日高 正



北田鉄夫



伊藤俊一

昭和三十三年生まれ



新名隆志

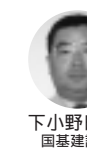
昭和二十一年生まれ



下道雄二



高橋 誠



下小野田 隆

昭和三十三年生まれ



福元義広

昭和三十三年生まれ



津田和 亨



満塩勝郎



『なくしかけてる大切なもの』

津田和 亨



十月の末、一度は行きたいと願っていたアンコール遺跡群巡りのためカンボジアにかけつける機会を得た。

アンコールワットの威容は建築屋として息をのむ大きさだった。シェムリアップ市から郊外の遺跡に行く途中、赤土の道は道沿いの高床式の民家におじゃましたとき、電気水道なしの限りなく自給自足に近い生活の中で子供達が庭先のかまどで大なべに火を焚きながらヤシの樹液から砂糖作りをしていました。

のぞきに行くとき、笑顔いっぱいの子供達に困まれ、自分勝手に想像する生活苦とは程遠い、むしろやきやきと笑顔をのぞきながら走りながら日本物豊かなことに驚かされた。

をつけながら飲んだことは、今までになかったこと。そしてこのコーラを飲んだときの気持ちは、今でもしっかりと覚えています。

での生活でなくしかけてる大切なものがここにはあるよなあ、と痛感。帰国してからは溜まった宿題に追われどっぷりと仕事とお付き合い、とやらに明け暮れる毎日。そんな中、家内に誘われ映画鑑賞、映画も何年ぶりかな? ご無沙汰だったなあ、映画館に行きながら聞かされたタイトルが ALWAYS、三丁目の夕日、昭和三十年代の庶民生活の映画、白黒テレビでみるプロレス、家族で乗るジェット、自分達の生まれ育ったあの頃にタイムスリップして、夫婦で人情話に目頭を熱くしながらの映画鑑賞となった。帰りの車中、あの頃の思い出話で盛り上がる。みんなが同じようにちよっと汚れた服で、真夏の小川で入れられた山で夕日が沈むまで遊んでいたあの頃、なくしかけてる大切なものが本音にあるよなあ。楽しい経験として残っています。今の世の中大変便利になりました。おもしろく、不便さを楽しむ事も、懐かしく思っています。時代への大きなステップにはならないかなとも思います。年男達よ、今年もがんばれ!







# 新年のご挨拶

青年部会長 林 正英



新年明けましておめでとうございませう。平素は青年部活動にたいし、多大なご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

昨年は悪徳リフォーム業者問題、耐震偽装問題等で、建築と建築業者に対する

ているのか？それにどう対応していくのか？私たちは勇ましく戦うことも大事ですが、生き残ることが一番重要だと考えています。

青年部の委員会構成は、総務委員会：各委員の情報交換と相互理解を高める。会員研修委員会：困難な時代の道をきりひらく。活動委員会：地域貢献と次世代の建築人を育てる。IT委員会：情報発信する自分の言葉で

基本にすえています。環境が早いスピードでめまぐるしく変化する時代は、活動への参加はとても有意義だと思えます。入りて学び、出て実践すること、問題解決への一助となることを願って一生懸命取り組んでまいりますので、青年部会への更なるご理解、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



IT委員会 委員長 原田 義久



会員の皆様新年明けましておめでとうございます。IT委員会をふりかえるととも、速い二年間で

一年間の事業内容としては鹿見島建築協会にIT顧問として桃知利男氏を招聘し青年部会のインターネットの構築、会員のITスキルアップの向上を模索した活動を行いました。

この二年間で感じた事はインターネットの構築を目標に行ってきたが、アクセス率が半数位だった事です。インターネットは生き物の様だと感じました。情報とアクセスが無ければ死んでしまつて動かなくなり、皆さん今後ともたくさん書き込み宜しくお願いします。

活動委員会 委員長 益田啓一郎



新年明けましておめでとうございます。活動委員会の委員長になつてから、あつという間の二年が過ぎていきました。この間様々なことを経験させてもらい、委員会メンバーをはじめ理事・会員の方々にたくさんのご協力と励ましをいただきました。

あらためて御礼申し上げます。この貴重な二年間で一番感じたことは、ご協力。高齢者世帯等奉仕作業は青年部会の先輩方が築

いてこられた事業で、各地区で独居老人の住宅の補修や清掃等を行つて皆様に感謝されてきました。高校生建築スクールは奉仕作業の新しい取り組みとして、これから建築を担う工業高校の生徒を対象にして協会青年部として何かが出来ることはないか？ということを探しながら試みました。

新しい事業を始めるといふことはあまり難しいことではありません。それを今後どのように継続発展させるかということが難しい課題なのかもしれません。

来期は皆様から受けたご恩を返すべく、惜しみなく協力をさせて頂く所存でございます。



# 青年部会活動状況

総務委員会 委員長 堀ノ内茂樹



会員の皆様 新年明けましておめでとうございます。

昨年、総務委員会では総会や新年会の運営、また、「2000誌」や「協会だより」のデジタル化を推進して参りました。

まず、発行物のデジタル化ですが、親会の方やIT委員会の方々の協力により、無事推進していく事が出来ました。今後モニターを含め、推進に寄与出来たらと考えています。

また、昨年四月に開催した定時総会では、上山会長を始めとする九名の親会役員の方々に懇親会に参加して頂き、盛大に開催する事が出来ました。

会員研修委員会 委員長 牧迫 英敏



あけましておめでとうございます。平成十六年四月から会員研修委員会の委員長を務め二年が過ぎようとしていますが、この間各事業を進めるに当り、青年部会理事の皆さん、委員会のメンバーに助けられ、無事に終えることができています。平成十七年度の当委員会の事業内容は、

八月に現場見学会、技術講習会を開催し、「NHK新鹿見島放送会館建設工事現場にて竹中、松田平田、渡辺、春園特定建設工事設計連合体の弓削所長さんのご協力により地盤改良と免震工法の構成と施工技術を見学し免震構造に対する知識を高めることができました。

また、経営者講習会では十一月に「どこにでもいる身近な見込み客&こうすれば出来る高収益確保の受注拡大」と題して、かこしま県民交流センターにて約八十名の参加を得、住宅受注営業研修プラスパード元（ぬまげん）の沼口和隆氏を講師に招き民間住

宅業界での豊富な経験談と事例を交えながら、一番大事なことは、現場での職人さん達のマナーと近隣配慮。見積りのプランの出し方。竣工後のアフターの充実。以上を意識改革をしっかりと行動していけば、今後需要が小さくなくても勝ち組になれると言うアドバイスを受け、大変刺激になる講習会となりました。最後になりましたが、二年間、各事業に多くの方々のご参加をいただき本当にありがとうございました。



現場見学会・技術講習会

経営者講習会

# 新春建築四団体合同賀詞交歓会を開催



新年の門出にふさわしい盛大な催しとなつている、新春建築四団体合同賀詞交歓会が一月四日、鹿見島サンロイヤルホテルに於いて開催され、来賓をはじめ四団体（社団法人鹿見島建築士事務所協会、社団法人鹿見島建築協会、社団法人鹿見島県建築協会、社団法人鹿見島県電設協会、鹿見島県空調衛生工事業協会）の会員らが多数出席しました。今年で十八回目をむかえた交歓会では、初めに担当の建築士事務所協会の大原会長が挨拶し、来賓祝辞、来賓や各団体がハッピを着て威勢よい鏡割りをしました。来年度担当の電設協会の山ノ内会長が乾杯の発声をした後、参加者はしばし歓談し、輝かしい幕開けとなりました。